

市の貯金は増えた。市民は負担が増えた。

(東大和市の財政を概観する) (単位・百万円)

	平21年度	平31年度	令2年度	令3年度	令5年度
借金					
借金残高総額	30,762	28,307	27,504	26,353	22,665
臨時財政対策債	7,092	14,967	15,070	15,137	13,244
下水道関係	13,939	7,815	7,090	6,401	5,346
施設整備その他	9,731	5,525	5,344	4,815	4,075
貯金					
一般会計貯金残高	870	5,180	5,699	6,736	8,603
介護保険特別会計貯金残高		809	756	1,003	866
国民健康保険貯金残高		169	334	366	271
市民負担					
個人市民税	5,340	5,404	5,431	5,311	5,437
固定資産税	5,100	5,273	5,265	5,148	5,322
都市計画税など	1,499	1,606	1,618	1,644	1,705
保育料など	315	266	118	151	142
学童育成料など民生使用	27	43	34	37	40
土木使用料	83	62	63	61	62
衛生手数料	67	306	311	305	316
国保・介保・後期保険料	3,160	4,185	4,214	4,309	4,451
下水道使用料	1,077	1,174	1,211	1,228	1,155
経費の変化					
13委託料	4,879	6,599	7,119		

借金残高は、307億円から227億円へ減少
 臨時財政対策債は、返還時に、国から交付(補填)される。
 下水道建設の借金は、かなり減少した。
 施設改善投資を行っていない ?

一般会計貯金残高は、86億円に増えた。さらに増加中。
 介護保険会計にも貯金があり、長期的には徐々に増加中。
 30年度から国保税の連続値上げの結果、貯金ができる。

個人市民税は横ばい。所得が増えないから？

電力会社等への道路使用料の減額は、是正(値上げ)された。
 ごみの収集が有料になった。
 保険料は、毎年 of 如く値上げされた。
 下水道使用料も値上げされた。

外部委託、民間委託が激増。

市は、借金が減り、貯金が増えた。

ごみや下水道料金の有料化、値上げ、保険料の連続値上げ。市民の負担は重くなった。

市民の所得は増えないのに。

電力会社、ガス会社などへの道路使用料の減額は、是正されることになった。

民間委託が増え、市役所職員の力量低下が心配。市外の手業者へ資金が流出している。